

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	池 晶子	作成日	2026/5/8
----	--------	----	------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
生物学基礎	専門教育科目（食物栄養）	1-4	
食品衛生学実験	専門教育科目（食物栄養）	3-4	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	3-4	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	4	
食物栄養実践演習 A（フード）	専門教育科目（食物栄養）	2	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
食品衛生学	専門教育科目（食物栄養）	3-4	
微生物学	専門教育科目（食物栄養）	3-4	
管理栄養士特別演習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3-4	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

管理栄養士を目指して入学してくる学生が、将来の自分の姿をイメージしながら、着実に必要な知識、技術、経験を積んでいけるように教育することを重要視しています。特に初年次の授業を担当していることから、高校とは異なる大学の学び方に学生が慣れていけるよう、専門教育への橋渡しを心掛けています。一律な授業に馴染めない学生がいることを常に念頭に置き、現在の力量のすこし上にハードルを設定したトレーニングを促します。

高学年では、管理栄養士への実践的教育のひとつとして、新しく修得した知識や技術を、他者への働きかけに展開できるように、教え合いや発表の機会を設けます。また、主体的、能動的に新しいことを追究する意欲を育てます。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	石川 英子	作成日	2026/5/22
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
臨床栄養管理学	専門教育科目（食物栄養）	3	第1Q
栄養教育論Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3	
総合演習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
栄養教育実習	資格課程科目	4	
食物栄養実践演習A（スポーツ）	専門教育科目（食物栄養）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
栄養教育論Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	2	
総合演習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
給食経営管理論臨地実習	専門教育科目（食物栄養）	3	
給食の運営	専門教育科目（食物栄養）	3	

2. 理念

(1)(2) 教育の基本理念と役割

私の教育の根幹は、「栄養学の修得を通じ、学生が自ら幸せな人生を切り拓く基盤を築く」ことにあります。「身体は食べたものでできている」という真理を軸に、将来の職種を問わず、生涯にわたって自身の健康を管理できる自律した個人の育成を職責としています。

2. 学習環境の構築と学習支援

専門科目の指導においては、単なる知識の伝達に留まらず、以下の2点を両立させる場を提供することに注力しています。

①「共創的」な学びの場：友人との学び合いを通じ、知的好奇心が刺激される「楽しい」学びを実感させる。

②成果へのコミットメント：管理栄養士国家試験合格に向けた戦略的な授業展開を行い、学生のキャリア形成に責任を持つ。

3. 学修スキルの定着と汎用的能力の育成

専門教育を通じて、社会人として必須となる「調べる・考える・まとめる・振り返る」という一連の学修サイクル（自学自習の型）を定着させることを重視しています。また、大学卒業後の社会生活を見据え、遅刻厳禁やレポート期限の遵守といった「社会人マナーの涵養」を徹底し、規律ある学習態度を求めています。

4. ディプロマ・ポリシー（DP）に基づいた責務

本学のディプロマ・ポリシーに基づき、以下の能力育成を主導しています。

・知識・技術の統合（DP1-1, 1-2）：栄養学・調理学・食生活に関する知見を、実践の場で活用できるレベルまで統合する。

・課題解決と継続的学修（DP2-2）：実践の場での課題発見・解決能力を養うとともに、専門職として不可欠な「計画的・持続的に学修する習慣」を全学的な視点から育成する。

(3) ティーチング・ポートフォリオ：教育の方法

1. 自学自習の習慣化を促すハイブリッド学習環境の構築

「予習・授業・復習」を一体のサイクルと捉え、学生が自宅外でも能動的に学べる環境を整えています。

①反転授業の導入：予習を前提とした反転授業を複数回実施し、基礎知識を事前に修得させた上で対面授業に臨ませています。これを成績評価に組み込むことで、学修習慣の定着を図っています。

②オンデマンドリソースの提供：対面授業のZoom録画およびデジタル教材をLMS（学習管理システム）上で公開し、「いつでも、どこでも、何度でも」復習可能な体制を整備しています。

2. 協働学習（ピア・ラーニング）による連帯感の醸成

臨床栄養学等の臨地実習関連科目を中心に、学生同士が教え合い、補い合う「学びの共同体」を形成しています。

実習班の組織化とグループワーク：学外実習を見据え、個人の責任感と班員への貢献を意識させるグループワークを導入しています。困難な課題に対して互いに補完し合う経験を通じ、対人能力と専門的態度の双方を養っています。

3. 国家試験合格を見据えた段階的・個別的指導（アウトカムの追求）

確実に「結果（合格）」を出すため、マクロ（全体講義）とミクロ（個別指導）の両面からアプローチしています。

・過去問の構造的分析： 国家試験の過去３年分を網羅的に分析し、分野ごとに解体・再構成した教材を作成しています。「解説→解答→リフレクション」のプロセスを授業内で完結させ、実践力を養っています。

・「寺子屋方式」による補習指導： 苦手科目に対しては、少人数制の補習を実施しています。学生が陥りやすい「躓きの石（stumbling block）」を教員が的確に把握し、対話を通じて「気づき（awareness）」へと変える、きめ細やかな個別最適化指導を実践しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	金森 雅夫	作成日	2026/5/26
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
病理学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	2	
特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
生活環境論	専門教育科目（食物栄養）	2	
病理学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	2	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

世界は、マラリアなどの感染症の増加、猛暑、豪雨、干ばつ、地震、紛争による災害死の増加などが顕著にみられ、被災者は、貧困化、低栄養状態の悪化に悩んでいる。高齢化が急速に進んでいる我が国では、COVID-19 感染者の中での免疫能低下の高齢者の事例や独居高齢者の低栄養化も指摘されている。

授業では、最先端の病理像を紹介しながら、国際人として、アフリカ・アジア諸国に移住しえる未来社会を考え、生き抜いていく職業人として、その基礎、土台を学んでいるのだということを強調したい。

そのためには、できるだけ具体的な事例—気候変動対策、食中毒、疾病のエビデンスである治療ガイドライン—を通じて語りかけたい。全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DP2-1（基本リテラシー）：外国語表記になれる、DP3-2（学修習慣）：目標に向かって計画的、持続的に学修する習慣の育成に力点を置く。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	塚元 葉子	作成日	2026/5/7
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
解剖生理学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	1	
大学入門ゼミナールⅠ	専門教育科目（食物栄養）	1	
管理栄養士特別演習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	4	
食物栄養実践演習A	専門教育科目（食物栄養）	2	
SPI 対策基礎（非言語分野）	基盤教育科目	1	第1Q

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
解剖生理学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	1	
解剖生理学実験	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

管理栄養士養成課程の学生に対して、主にディプロマポリシーの DP1 に則り、ヒトの栄養に関する諸問題の基礎となる解剖生理学・病理学的知識 や医学用語 を「嫌いにならずに」修得させること、を目標としています。

実際の食事と栄養生理学的知識をつなげて、管理栄養士の仕事に活かせるように、特に 1 年生の授業では、できるだけ具体例を挙げながら、身近な問題として捉えることができるように工夫しています。

3 年生の解剖生理学実験や卒業研究では、ディプロマポリシーの DP2 ～3 に力点をおいて指導しています。

小、中、高と 学業 に専念 してきた とは言い難い学生が多いですが、基本は素直で伸び代のある学生達です。授業では常に『今できていないこと』で評価するのではなく（入試でそのような選別ができていない）、『今できていないこと』を自覚してこれから伸びるためにテストをし、勉強を促す」ことを説明し、塚元自身は学生の将来に明るい希望を持っていることを常に伝え、学生を信じて応援する教育者でありたいと考えています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	中村 絵美	作成日	2026/5/19
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
SPI 対策基礎(非言語分野)	基盤教育科目	1	
大学スポーツ基礎論	基盤教育科目	1	
大学入門ゼミナールⅠ	専門教育科目（食物栄養）	1	
食物栄養実践演習 A（医療）	専門教育科目（食物栄養）	2	
スポーツ栄養学実習	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
スポーツ栄養マネジメント論	専門教育科目（食物栄養）	4	
食品評価論（演習）	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	4	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
健康科学	専門教育科目（食物栄養）	1	
応用栄養学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	2	
管理栄養士特別演習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

管理栄養士を志す学生に対する教育をメインに行っており、入学してから４年生までその意欲を持続させるような授業を意識して実施しております。例えば、現在学修していることが日常生活ひいては管理栄養士国家試験につながっていることを常に伝えるような授業を心がけております。

建学の精神である『愛真教育』を基盤とした『自由・自主・自律・個性尊重の人間教育』を通して、社会に有為な人材を育成する」ことを意識し、管理栄養士という国家資格を有する医療従事者の一員として社会で活躍できるように教育しております。

また、導入科目である「大学入門ゼミナールⅠ」では DP3-Ⅰ（態度・志向性）「主体的に行動しながら自己管理ができ、チームワークを重視し、社会で信頼され活躍できる人間力とリーダーシップを有している。」ことを、専門科目では DP1-Ⅰ「(知識・理解) 栄養学、調理学および食生活に関する知識・技術を体系的に学び修得している。」ことを中心に力点を置いて教育しております。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	古市 卓也	作成日	2026/5/26
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
生化学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	1	
免疫学	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
SPI 対策基礎	専門教育科目（食物栄養）	1	第1Q
食物栄養実践演習A（グローバル）	専門教育科目（食物栄養）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
生化学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	1	
生化学実験	専門教育科目（食物栄養）	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

管理栄養士養成課程に進学する学生の志向は多様化しており、病院や学校、福祉施設に加えて食品会社などの企業、スポーツ施設、公務員を志望する学生が増加している。一方で、栄養学が理系分野に位置することを明確に認識しないまま入学に至るケースも増加しており、個々の学生に寄り添った指導の重要性が増している。

講義科目では高校までの生物・化学の知識が充分でない学生がいることを念頭に、これらの関連項目についても基礎から説明している。実験科目では教科書や文献などを用いた結果の予測、デモ動画の事前視聴による手順確認、実験開始前のグループディスカッションによる情報共有、実験毎に指示係や記録係などのロールプレイングに取り組ませることにより、理解度と社会人基礎力の向上を図っている。生化学は栄養学の基礎となる科目であることから、「DPI-1: 栄養学に関する技術・知識を体系的に学ぶ」こと、免疫学・国家試験対策では「DPI-2: 同知識と考え方を体系的に習得すること」、卒業研究では「DP2-2: 主体的にやり抜く力」を重視して指導している。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	南野 勝彦	作成日	2026/5/20
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅠ	専門教育科目（食物栄養）	1	
実験基礎	専門教育科目（食物栄養）	1	
基礎栄養学実験	専門教育科目（食物栄養）	2	
管理栄養士養成施設特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
食物栄養学実践演習A（フード）	専門教育科目（食物栄養）	3	
SPI 対策基礎（非言語分野）	基盤教育科目	1	第1Q
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
基礎栄養学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	1	
基礎栄養学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	2	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
管理栄養士特別演習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

基礎学力だけでなく専門知識においても、学生の興味は know-how や Point に傾倒しがちであり、確かに確立された know-how を利用する事は、重要かつ迅速な問題解決方法である。しかしながらひとたび例外や予想外な事態にぶつかると、とたんにどうして良いかわからなくなり立ちすくむ姿をよく見かけ、社会のニーズに応えるには一定の思考では解決することはできない。これらの理由から、知識を提供する事はもちろん、問題を解決することの意味や、知識の使い方を考えさせることによって学習意欲を持たせ、主体性を持ち、迷いながら課題解決に取り組む事の重要性をも教育したい。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、講義科目は、DP3-2（学修習慣）「自己を管理する力を身につけ、自らの立てた目標に向かって計画的、持続的に学修する習慣」の育成、実験・演習科目では、DP2-1（基本リテラシー）「自分の考えを的確に表現するための日本語運用能力、基礎的な ICT 活用力」および DP3-3（協働力）「周囲の人と協調しながら自らの役割を果たし、協働して物事を進める力」の育成に力点を置いている。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	李 温九	作成日	2026/5/1
----	--------	----	------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
調理学	専門教育科目（食物栄養）	2	
調理学実習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	2	
大学入門ゼミナールⅠ	専門教育科目（食物栄養）	1	
SPI 対策基礎（非言語分野）	基盤教育科目	1	第1Q
管理栄養士特別演習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
調理額実習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	1	
大学入門ゼミナールⅡ	専門教育科目（食物栄養）	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

変化する社会環境とダイバーシティに対応できる社会力と相手の気持ちに寄り添える感性豊かな人間力をもつ管理栄養士の育成を目指しています。学生に対して、食の専門家として食べ物の生産から調理に至るまでの仕組みを理解し、栄養や健康に関する専門知識だけでなく、環境問題にも関心をもつような指導を心がけています。調理学理論および調理実習では、食品の調理性に対する知識や作ることの楽しさだけを伝えるのではなく、災害時や非常事態の食事作りにも対応できる応用力を身に付けることの重要性も教育しています。また、食の外部化や国際化に興味を持ち、多様な食文化にも柔軟に対応できる学生の育成に努めています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DPI-I「栄養学、調理学および食生活に関する知識・技術を体系的に学び習得している」の育成に重点を置いています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	恵美 真子	作成日	2026/5/18
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
応用栄養学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	2	
スポーツと栄養	専門教育科目（食物栄養）	2	
スポーツ栄養学実習	専門教育科目（食物栄養）	3	
食物栄養実践演習 A(スポーツ)	専門教育科目（食物栄養）	2	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	4	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	専門教育科目（食物栄養）	1	
管理栄養士特別演習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
健康栄養実習	専門教育科目（食物栄養）	2	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

食物栄養学科では、管理栄養士国家試験合格を目標に、高度な栄養管理スキルを持つ職業人育成を念頭において教育しています。特にスポーツ栄養分野で活躍できる人材育成を目指し、スポーツにおける競技特性を理解して栄養ケア・マネジメントを実践できるように教育しています。またスポーツ現場で求められる臨機応変な対応や、コミュニケーション能力を養うことができるよう、選手の事例を紹介し、献立作成や模擬栄養指導など実践的な学習スタイルで行っています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DPI-2「栄養学、調理学および食生活に関する知識・技術・態度および考え方を総合的に修得している」、DP4-I「(統合的な学習経験と創造的思考力) 地域社会の食に関わる課題を見出し、地域住民の健康と福祉に食の面から貢献できる能力を修得している」の育成に力点を置いています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	金岡 有奈	作成日	2026/5/11
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
公衆栄養学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3-4	
総合演習Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
食物栄養実践演習A	専門教育科目（食物栄養）	2	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
公衆栄養学臨地実習	専門教育科目（食物栄養）	4	

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
公衆栄養学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3	
公衆栄養学実習	専門教育科目（食物栄養）	3	
総合演習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
大学入門ゼミナールⅡ	専門教育科目（食物栄養）	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

公衆栄養学は集団を主な対象とし、栄養上の問題の解決および疾病予防と健康増進を図ることを目的としており、地域社会の健康・栄養問題課題解決に向けた実践活動（公衆栄養活動）を伴います。地域集団の健康栄養問題とそれらを取り巻く環境要因に関する情報を収集・分析し、分析結果を総合的に評価・判定するとともに、課題解決のための公衆栄養プログラム立案能力を養うことを目指し、DP4-1（統合的な学習経験と創造的思考力）に力点を置いて育成しています。

さらに保健所・保健センターにおける臨地実習や卒業研究では、DP2-2（汎用的能力）や DP3-1（態度・志向性）の育成を図り、各種栄養関係プログラム・公衆栄養活動がどのように実施されているか、学習し、地域における保健・医療・福祉・介護の連携、保健所管理栄養士の役割について理解すること目的としています。管理栄養士特別演習では国家試験合格に向けて、DPI-2（知識・理解）の育成を目指しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	玉木 咲子	作成日	2026/5/1
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
栄養管理学	専門教育科目（食物栄養）	3	
栄養教育論Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	3	
食物栄養実践演習 A	専門教育科目（食物栄養）	2	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
給食経営管理論Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	2	
栄養教育論Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	2	
給食経営管理論実習	専門教育科目（食物栄養）	3	
給食経営管理論演習	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
卒業研究Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

食物栄養学科では管理栄養士国家試験の合格を重要な目標の一つと位置づけていますが、それだけにとどまらず、卒業後に社会で専門職として活躍できる力の養成を重視しています。そのため、知識の定着はもちろんのこと、実践的な技術や応用力、課題解決能力の向上にも力を注いでいます。

授業では知識の定着に加えて、教員の実務経験や具体的な事例を積極的に取り入れ、学んだ内容を実際の業務でどのように活用するかを伝えています。また、他科目との関連性を意識することで、学生が複数の視点から総合的に理解を深められるよう工夫しています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係においては、特に DPI-1「栄養学、調理学および食生活に関する知識・技術を体系的に学び修得している」、および DPI-2「栄養学、調理学および食生活に関する知識・技術・態度および考え方を総合的に修得している」の達成を教育の中心に据え、講義・演習・実習を通じて、学生がそれらを身につけられるよう努めています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	食物栄養学科	氏名	鮫島 由香	作成日	2026/5/1
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
食品加工学	専門教育科目（食物栄養）	2	
食品学Ⅱ	専門教育科目（食物栄養）	2	
管理栄養士特別演習Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	3	
管理栄養士特別演習Ⅲ	専門教育科目（食物栄養）	4	
食物栄養実践演習 A（フード）	専門教育科目（食物栄養）	2	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
食品学Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	1	
食品学実験	専門教育科目（食物栄養）	2	
大学入門ゼミナールⅡ	専門教育科目（食物栄養）	1	
管理栄養士特別演習Ⅳ	専門教育科目（食物栄養）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

食物栄養学科は管理栄養士養成課程であるので、学生が管理栄養士国家試験を突破できる力を身に着けることを目標にしています。講義する際は、知識を詰め込むのではなく「なぜそうなるのか」といったことや、関連する事項の小話も盛り込み、より興味を引くように授業を組み立てています。

また、食物栄養学科の学生は、大学卒業後、栄養士・管理栄養士として様々な背景をもつ人々と携わっていくことから、栄養に関する知識の習得および自らの言葉で、それらの知識を表現する力の育成に力を入れています。全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、講義科目は、DP3-2（学修習慣）「自己を管理する力を身につけ、自らの立てた目標に向かって計画的、持続的に学修する習慣」の育成、実験・演習科目では、DP2-1（基本リテラシー）「自分の考えを的確に表現するための日本語運用能力、基礎的な ICT 活用力」および DP3-3（協働力）「周囲の人と協調しながら自らの役割を果たし、協働して物事を進める力」の育成に力点を置いています。

【添付資料】